

抄録をご提出の際に、以下の項目を各自ご確認の上、抄録をご提出ください。内容に不備があった場合は、提出された抄録を受理できない場合があります。なお、このチェックリストの提出は不要です

確認すべき事項	チェック欄
【原稿について】	
○原稿の内容は、他の学会や雑誌などの紙面で発表予定のもの（投稿中も含む）もしくはすでに発表されたものではない（施設内発表、および看護協会支部での発表は可）	
○タイトルは14ポイント、本文は10.5ポイントとし、明朝体で記載している	
○「はじめに」で、今回の研究に取り組んだ、背景・仮説を述べている	
○「目的」で、研究目的で明らかにしたいことを述べている	
○「方法」で、研究目的を達成するための対象、調査方法、分析方法など研究方法を述べている。	
○「倫理的配慮」で、看護研究に際し、個人情報の保護が担保されていること、また実践を報告するにあたって倫理委員会で承認を受けていることを述べている	
○「結果」で、今回の研究で明らかになった事実を述べている	
○「考察」で、得られた結果、研究内容に基づき、行った研究を目的に沿って考察している	
○「結論」で、考察も含めて研究で明らかになった事実を簡潔にまとめている	
○原稿は、演題募集要項の集録原稿作成方法に沿って作成している	
○略語は初出時に完全な用語を用いている	
○臨床で用いられている通称は使用しておらず、用語が正式な名称であることを確認している	
○本文、図表等は、白黒印刷で判別できる明瞭なものになっている	
○原稿は、発表者、共同研究者全員の氏名と所属を記載している	
○薬剤名は、商品名ではなく一般名を用いている	
【倫理的配慮について】	
○対象者へ実践報告の内容の公表などについて説明し、承諾を得ている	
○対象が特定できないよう配慮している。固有名詞（当院・当病棟を含む）を使っていない	
○実践報告の対象となることによって、対象者に不利益や負担が生じないよう配慮している	
○文献から図表や本文を引用する場合、著作権に配慮し出典を明らかにしている	
○既存の尺度を用いる場合、著作権に配慮し出典を明らかにしている	
○倫理委員会等の審査を受けている。または、看護部等の承認を得ている	
○利益相反の有無について明記している	